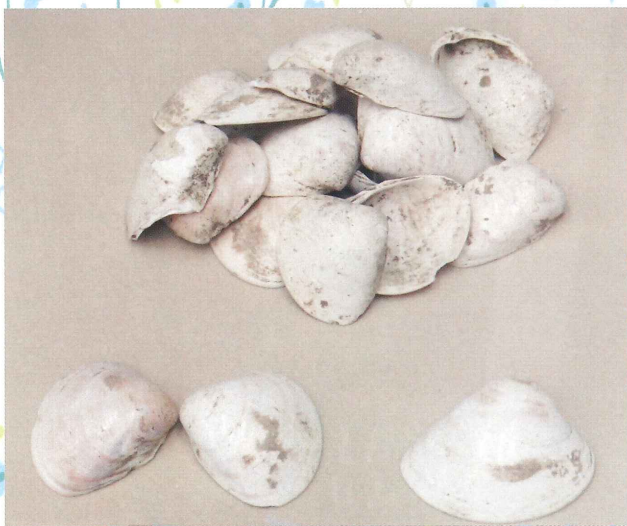


令和3年度 企画展

食卓の考古学

7/13²⁰²¹ [火] ▶▶▶ 9/26²⁰²¹ [日]

観覧無料



横尾貝塚出土のハマグリ



飯田二反田遺跡出土の縄文土器

どんぐりを保存する
ための網かご出土状況



龍頭遺跡出土・豊の国考古館展示



考古学講座
「食卓の考古学」
2021年7月21日(水)
10:30~12:00 または
13:30~15:00のいずれか
大分県立埋蔵文化財センター
予約制 下記TELまで

ギャラリートーク
8月7日(土)、9月4日(土) 11:00から

主催 大分県立埋蔵文化財センター

後援 大分合同新聞
NHK大分放送局
OBS大分放送
TOSテレビ大分
OAB大分朝日放送

 大分県立埋蔵文化財センター

〒870-0152 大分市牧緑町1番61号 TEL: 097-552-0077 / FAX: 097-552-0700

<http://www.pref.oita.jp/site/maizobunka/> Facebookもチェック



@oita.maibun

●開館時間 9:00 ~ 17:00(入館は16:30まで)

●休館日 月曜日(月曜日が祝日と重なった場合は、翌平日を休館とする)、年末年始(12月28日~1月4日)

考古学からみた食の文化

本企画展では、現代につながる食文化をさかのぼって、先史時代までみていきます。ここでご紹介したい4つの「旅の案内」を少し述べます。

まず、「食器の旅へのご案内」では、食器は、現在はほぼ銘々が使用していますが、それ以前は主に集団で共用されたことを明らかにしました。

次に「調理の旅へのご案内」では、食物を加工するための調理施設や調理具についてみます。中世には現代につながる調理具が成立することがわかっています。

また「道具の旅へのご案内」では、食物を生産・獲得するための道具についてみていきます。農耕や食料獲得の道具について先史時代を中心にみていきます。

最後に「食される物の旅へのご案内」では、当時の人々がどのようなものを食べていたのかを、動物・植物の遺存体からみていきます。

以上のように、多様で食を大切にする日本の食文化を俯瞰してきましたが、本展示が皆様の現在の食文化を改めて考え直すことにつながれば幸いです。



下郡桑苗遺跡における弥生時代のブタ骨出土状況



大分県立 埋蔵文化財センター

観覧無料！

●休館日
年末年始(12/28～1/4)・月曜日
(月曜日が祝日と重なった場合は、翌平日を休館とする)

●利用時間
9:00～17:00
(入館は16:30まで)

TEL 097-552-0077 (代)

FAX 097-552-0700

豊の国考古館

BVNGO大友資料館

歴史体験学習館

〒870-0152 大分県大分市牧緑町 1-61

<http://www.pref.oita.jp/site/maizoubunka/>

@oita.maibun



レキシカくん マイカちゃん